



あたらしい道



古くして古きものは亡ぶ

新しくして新しきものもまた亡びる

最も古くして

常に新しきものは弥栄える

朝の太陽は

最も古くして

最も新鮮な久遠の存在である

あたらしい道は

最も古い日本民族の道統を

現代に新しく復元する

世界の和平と繁栄に通ずる

朝の太陽の道だ

松木 天村



一本桜と施設の一部



施設の全景

あたらしい道

〃物・金で栄え、心の荒廃で国が滅びる〃

希望に溢れる未来が展望出来ないまゝ、人々は救いのない漠然とした「不安」を抱いて毎日を送っている人が多いのではないだろうか。ドン底を思わせる今日の狂った世相では、どんなに優秀な人が現われようと手の打ちようがありません。換言すれば人間の方では最早、根本的な改革「世直し」は不可能だということですか。では、どうすれば良いのでしょうか？

この世の中を善意に満ちた住み良い生活空間に戻すには、目に見えぬ大自然の計らいによる「世直し」以外にありません。

「世直し」は、ともすれば血で血を洗うような悲惨な社会革命とは違い、知らないうちに人々の意識が変わり、利己的な思い方が無くなり、他人に愛の手をさし

のべたくなるようになる意識改革のことです。これは現代人の常識からすれば、あまりに理想的で夢みたいな話だと思われるでしょう。でも「世直り」は近未来において必ず行われるのです。

◎おやかたさま

大自然は今日あることを予測されてしまったので、人を助け、国を救うために、その指針、模範となるべき人物をこの世に送られました。

その方が「あたらしい道」の教え主、松木草垣そうえん女史であり、〃おやかたさま〃とお呼びします。



おやかたさまと「あたらしい道」

昭和二十七年十二月六日、思いがけない天啓を受けられたおやかたさまは、ご自分のお腹の中から聞こえてくる声の主の命ずるまゝに、一切の行動から思いの自由までも奪われてお通りになりました。

その声の主が誰であるか、おやかたさまご自身さっぱりお分かりにならなかつたのですが、やがてそれがお腹の中に坐す自分自身のみたまおわ（天そのもの）であると告げられ、やっと納得されました。こうして神秘的体験を人類史上初めておやかたさまは通られ、人であつて天を身の内に蔵されるお方、即ち「天人」と成られたのです。

◎おやかたさまのお人柄

本来おやかたさまは、平凡な家庭の主婦としてご主人に仕えて生涯を送られるお心算つもりだったので、天そのもののみたまをもつてお生まれになるという宿命により、その時機到来して厳しい試練の末、天人女史として完成されました。



もともと病身で慎しみ深い日本婦人であられたおやかたさまでしたが、『国が危
い 国が危い』との、みたまさんからの知らせに、私がやらねば日本はダメにな
る」と肚決めされ、国を思う一念から天の指図に従って誠の人千人の育成に務め
られ、平成十年五月二日九十八歳のご生涯をおえられて南天の座に戻られました。

◎天の場に満つる天の気

大阪の南郊、羽曳野の丘にある「あたらしい道本部」
はつねに天の気が充満している日本唯一の、天の場
です。この天の場に全国から道友が帰参して、みたま
磨き」に励みます。勿論、目には見えませんが、おや
かたさまは今なお親しく道友の修行ぶりを見守ってお
られます。

このように「あたらしい道」は単なる宗教次元の一宗
一派の教えではなく、もともとの日本に立ち戻る、世
直り国替えに際して天業のお手伝いをすべく、おやか
たさまの思いから成った誠の道なのです。

根の国 日本人にも根がある

世界中の人々が平和を喜びあえるようになるためには、まず日本を元々の国柄に戻すことが必要です。なぜなら日本が地球上での「根の国」として位置づけられているからです。

植物に根があるように人間にも根があり、地球にも根があります。根とはすべての元であり、ものごとの初めです。ご存知のように根に勢いの無い植物は葉がぐったりしています。根がしっかりしている植物は葉に艶があり、見るからに活々いきしている筈はずです。

それと同じで世界の根と位置づけられている日本が、本来のお役を果せばきつと世界中が平和になります。そのためには日本が元々の姿に戻ることが急がれるのです。

国は国民によって構成されています。その国民の一人々々が日本人らしきを取り戻せば、自づと素晴らしい日本国よみがえに甦よみがえります。つまり私たちの根が勢いづけば良いのです。

◎ 〃本当の自分〃 — みたまさん —

その根をおやかたさまはみたまさんと称されました。みたまさんによって私たちは毎日生かされているのですが、そのことをおやかたさまに明かして頂くまで誰一人知りませんでした。肉体を両親から受けついで自分の力で生きているとばかり思っていました。実はみたまさんによって生かされていたのです。

誰でも腹の奥に 〃本当の自分〃 であるみたまさんを宿して誕生します。肉体は一代限りで灰となりますが、みたまさんは不滅の存在です。

それで寿命がきてみたまさんが離れた肉体を なぎがらと呼びます。

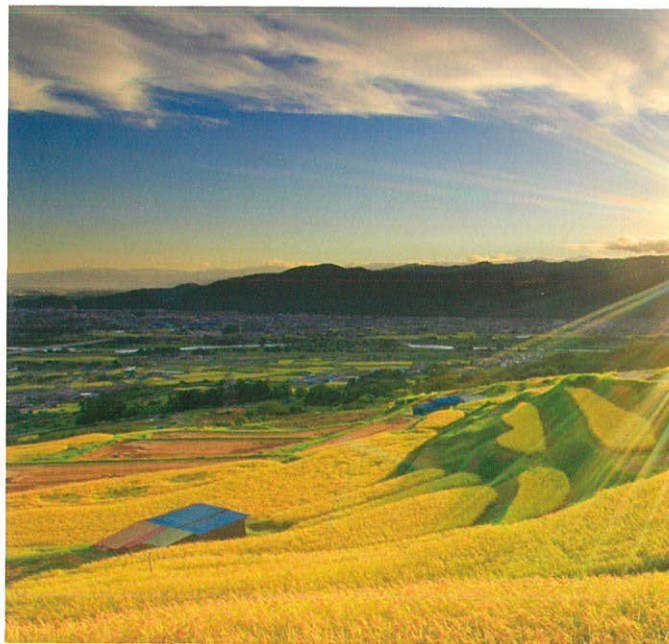




この最も大切な根であるみたまさんを肥やし、太らす修練の場が「あたらしい道」なのです。初めて読まれる方には理解しにくいでしょうが、そのうち何となくお分かり頂けると思います。日本人には昔から「臍下丹田」という言葉にあるように、腹の中に何かがある、と漠然と感じていました。「あたらしい道」おやかたさまによって初めてそれがみたまさんなのだと明らかにされたのです。

◎みたまさんが目覚めれば

現代人のみたまさんは頭脳にお役を奪われ眠っています。これは困ったことなのです。知能のみで生活しているということは、肝心の根（みたまさん）を忘れて地上の枝葉を繁らせ、花ばかり見事に咲かせようとすることで、すから、当然幹（肉体）が弱ってしま



い、ちよつとした突風(精神的疲労)にも倒れかねません。

この根を揺すってみたまきさんを目覚めさせるのが「あたらしい道」の役目なのです。根が「天の理」という水を得て生きかえり、みたまきさんが目を覚ませば顔色も良くなり、人と人とのふれあいにも情と誠の潤いが生じ、活力が腹の底から湧き上ります。どんな台風に襲われてもビクともしなくなります。それが「世直り」です。

現在の世相のひどい乱れも、この有難い自分のみたまきさんの存在を知らないため、我勝ちに自分本位に振るまっているのが原因なのです。

日本人らしい日本人

終戦後日本はまたたく間に世界の一流国の仲間入りを果しました。生来の勤愼性、順応性が敗戦国の逆境を克服し経済大国になりました。但し、思想面では衰退してしまいました。

私達が遠い先祖から代々受けついできた道統、日本精神すべてを軍国主義の温床だとばかりに追放し、アメリカン・デモクラシーのおいしい部分、自由や権利だけを主張し、それに伴う義務や奉仕の精神を無視したため、結果として今日の思想的混乱を招いてしまったのです。

◎人間本来性

みたまさんには日本人の精神的基盤として、「人間本来かくあるべし」と云うはじめ、筋目が嵌めこまれています。人間本来性の一例として、おやかたさまは『人間本来は情である、赤子に等しいもん、ぬくといもんである。恥をいやがるもの、自分を滅するもの、人を立てるものが人間本来にある。』とお示しになっています。今の世の中は全くこの逆の思い方で成り立っているのです。



それは、みたまさんが眠っているのです、その素
晴らしい^{はたら}能力が少しも発揮されていないからで
す。ですから何としてでも一日も早くみたまさん
に目覚めてもらわなくてはなりません。

日本人は天意のまゝに大自然に融合して仲良
く暮らす民族です。中心に、世界に類^{たぐ}いない皇室
を戴いて、和を以って貴し^しとする国柄です。

根が目覚めることによつて、本来の人間性がよ
みがり、人々の思いが変われば必ず世の中も変
わります。

「世直り」とは結局「余^よ（自分）直り」なのです。

『あたらしい道とは最も古い神代の頃を現在にはつきり見せつけるので
あたらしい道という』（昭和五十四年一月八日）と、おやかたさまは仰っしや
います。

『神代の頃は日本人は皆みたま通りだった　また　それに戻るんです』
『あたらしい道は本当の日本を呼び起こす道　みたまさんを揺する道』とも云わ
れます。

いづれにせよ、「あたらしい道」は日本で唯一の　天の能く場はたら　天と直々に繋
がっている場シなのです。

大阪の空には業ごころがない

羽曳野の空には 天につながるずいき瑞気がある
このままでは ダメになってしまいう日本を
ダメにしないため

天意によって成った道

日本中 どこにもない

ここだけにある 本当の教え

みたま磨きの場 シあたらしい道シ

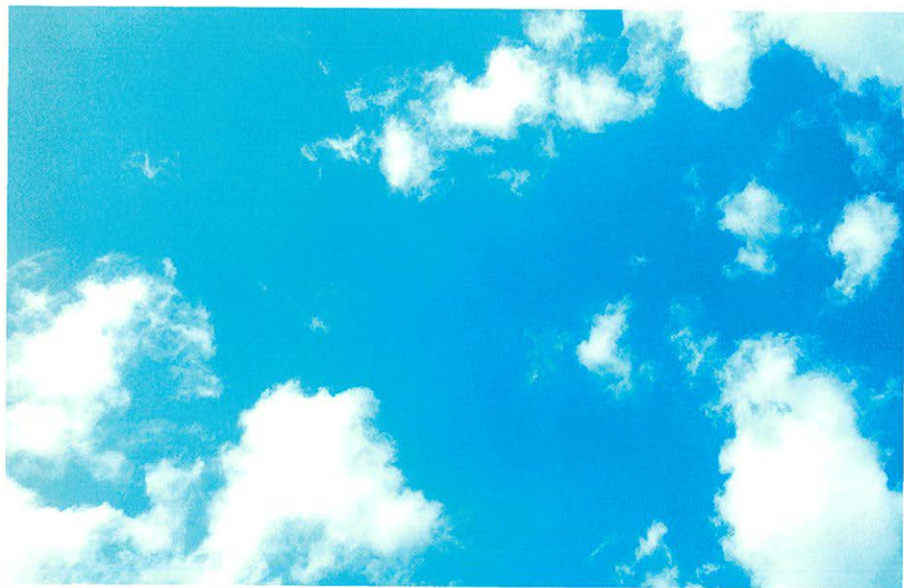
まことの日本人に戻るため

今迄 知らなかった 本当の 自分を知り

改めて 本当の自分に気付いたら

きつと 肚の底から

生きる喜びが 湧き上るだろう



あたらしい道本部

〒583-0872

大阪府羽曳野市はびきの3丁目3-18

TEL : 072-956-7971
